第１３回 NPO 法人 UTA の輪セミナー資料

２０１８年１２月２日～４日
会場　hotel＆resorts ISE-SHIMA

他力のエネルギーのままでは、どんなにともに歩みをといざないを受けても、ともに歩めません。それが現実です。どうぞ、その現実をしっかりとあなたの心で確認して、他力のエネルギーになぜ埋没してきたのか、あなたの心の叫びをしっかりと受け止めてください。

２０１８年１２月、今年最後の本セミナーです。皆さん、ともに学んでまいりましょう。心からありがとう、喜び、嬉しいと、本当に今、待ってくれていた思いとともに学んでまいりましょう。
私達は、苦しい、苦しい転生を潜り抜けてきました。その苦しい転生を、今世の転生をきっかけにして、どうぞ、変えていってください。
明るい転生へ、喜びの転生へ変えていけるパワーがそれぞれの心の中にあります。
それぞれの心の中の愛。愛が自分だったという思い。その思いをしっかりと確認していく、そんなセミナーにしてまいりましょう。
私達は愛です。そのように伝えていただきました。今世、肉を持って学びに集い、私達はそのように伝えていただきました。
信じていますか。信じられますか。

「いいえ、私は肉だ。私の中は苦しみいっぱいだ。愛だと信じたいけれども、苦しみが、何々が・・・。」とあなたの中は叫んでいませんか。
そうではありません。どうぞ、ゼロ歳の目でお母さんの目を見てください。ゼロ歳の目で田池留吉の目を見てください。
あなたの中の切なる思いがどんどん響いてくると思います。その切なる思いとともに学んでいきましょう。学んでいくんです。学ぶ時間と空間を用意してきました。こんな幸せな私達なんです。宇宙一幸せ者です。どうぞ、ともにともに瞑想です。ともにともに心を向け、心の針を向け、田池留吉、アルバート、母なる宇宙へ、次元移行へ思いを馳せてまいりましょう。
私達は次元を超えてまいります。ともにともに歩いていく意識だと、それぞれの心の中に自覚を深めてください。
それにはまず、お母さんの反省、そして他力のエネルギーに自分を縛りつけてきたその反省を滞りなく進めてください。
他力のエネルギーのままでは、どんなにともに歩みをといざないを受けても、ともに歩めません。それが現実です。どうぞ、その現実をしっかりとあなたの心で確認して、他力のエネルギーになぜ埋没してきたのか、あなたの心の叫びをしっかりと受け止めてください。
受け止めていける私達です。私達は愛だからです。愛はすべてを受け止めていきます。そして変えていけるんです。本来の私達に、本来あるべき私達の軌道に。
信じて、信じて、愛ある自分を目指してまいりましょう。

【ホームページより】
① 自分の心を見て、流すエネルギーを感じて、そこから自分の

間違いに心で気付いて本来の軌道に戻していこうとする、そのための時間を肉を持って自分に用意してきました。肉を持ったのは、自らの間違いに気付いていくためでした。
何を間違ってきたのか、なぜ間違ってきたのか、きちんと自分の中で答えが出ていますか。
肉を持ってきた本来の目的を、肉を終えるその時まで違えずに遂行していければ、その人生は○です。
本来の目的を早い段階で思い出して、そしてその目的を遂行していく時間を確保できれば一番いいんですが、そう簡単にはいきません。はっと気付いた時は、もう人生の先が見えているということかもしれません。それでも気付いたその時からやってください。
自分が本当に望んできた人生を生きているか、その都度しっかりと確認して、もう二度と自分を裏切ることがないように。

② UTA の輪の中でともに学ぶ喜びと幸せ、どうぞ、あなたもご自分の心で味わってください。
輪の中心は愛です。中心へ向かってともに歩みを進めてまいりましょう。
その歩みは自己確立の歩みです。自分の心で感じて感じたものを信じていく、自分と自分の中で歩みを続けていく、真にそうなってくれば、自ずと波動の世界が変わっています。
宇宙を変えていくのは、その波動の世界です。波動を学んでまいりましょう。ぶれずにしっかりと自己確立の道を目指してください。

③ 今世もまた肉、肉で生きてきた時間の中で、様々なルートを

辿って学びと出会った私達です。
どうぞ、今世の時間、学びに集った今世の時間を決して無駄にすることがないようにお過ごしください。
どんな生き方を選んでいくかそれぞれに係っていますが、次元移行という意識の流れは粛々として流れていることを、様々な現象を通して感じられるあなたであってください。
思うは田池留吉を実践して、喜びの中にあったことを確認、確認する時間をたくさん持っていただけたらと思います。
三次元最終の時間に向けて、心で気付いた方からその準備を万全に整えてまいりましょう。最終転生の時期に再び出会えるよう、自らの歩みを進めてください。

④　肉、形の世界は複雑です。賢く立ち回っていても、決して本当の意味で賢くはないということが、頭優先の社会に生きている意識には全く分からないというのが現実だと思います。
だから、その揺らがないとしている自分達の足元から崩れ去っていく現象の波が、様々なところから吹き荒れていきます。
総崩れです。それはもう決して止めることはできない流れです。
意識の流れの中にある私達だから、その流れの中で自分を見つめ直す、知っていくしか生きていく方法はありません。
宇宙のもくずとなってまだまだどれだけ苦しみの中に沈んでいくのか、これは決して大げさなことではないんです。
現実のものとしてしっかりとそれぞれの心で受け取ってください。
そのために、そこから何とか脱出するために、決死の覚悟で今世の肉を自分に用意してきたという思い、どれだけの方が心で感じておられるのでしょうか。

⑤　総崩れの現象の中であなたは何を思うのでしょうか。何を叫ぶのでしょうか。瞬間思う、田池留吉を思う、お母さんを思う、ありがとうと言える、難しいことかもしれません。難しくしてしまったのは私達です。肉を本物として生きてきたあまりにも長い時間です。しかし、難しいけれど決して不可能ではないことを知っていきましょう。
そうお伝えします。だから、日々の心の管理、針の向け先の確認を怠らずに、どんなことがあっても、言われても、ふうっと丹田呼吸をして喜びの自分の世界に時を置かずに戻っていけるように。
尤も、これは、喜びの世界が本当の自分の世界ですと、私は愛ですという確信が芽生えていなければということが大前提にありますが、日々のトレーニングが大事です。
そのトレーニングを重ねていく日々の中にこそ、今ある喜びが見出せるのはないでしょうか。

⑥　本来の自分の生き方、存在の仕方をしっかりと思い起こし、その思いとともに生きていけるようになれば、そこから新たな喜びが感じられるでしょう。今までとは全然違う喜びの中にあったこと、それは全部自分の中にあったこと、はっきりと感じると思います。
いつも見ている風景、それは変わらないけれど、自分の中が変わっていくから、見ているようで見ていない、聞いているようで聞いていない、そんな生活ができてくるのではないでしょうか。
肉、形の中に深みにはまらない、掴まない、握らない、こだわらないということが自然になってくると思います。

楽に生きましょう。そうです。自分の中に思いを向けて、どこまでも広がっていく意識、波動の世界にある自分をただ思っていけばいいのです。

⑦　私は私の宇宙の中に生きている、存在しています。みんなそうです。あなたもあなたもみんな自分の宇宙の中に生きているんです、存在しているんです。決して形の中に生きているんではないんです。
宇宙、その宇宙の住み心地がよければいいんです。風通しがよくていつも優しい温かい温もりが感じられて、その中で委ねていける幸せ、喜びを感じられる宇宙であればいいんです。そのように私達は学んできました。学ばせていただきました。
どうぞ、それぞれの心で感じられることを喜んでください。学んできたことをしっかりと育んでいけるかどうか、それはあなた次第です。
もちろん、今世、田池留吉の肉とともに学ぶ時期と合わなかったけれど、今世学び始める方達がいます。確かに田池留吉の肉とともに学べなかったけれど、今世学ぶ計画を立ててきた方達です。それはそれぞれの計画だからそれでいいのです。今世の学びをそれぞれの転生に繋いで、最終時期２５０年後に集結していけるようにする、その点に関しては、田池留吉の肉とともに学んだ方達と何ら変わることはありません。
どちらにしても、今世学びに触れたこと、決して自ら無駄にしないように心掛けていきましょう。ラストチャンスと心得てください。

⑧　⑧ 何も持たずに生まれてきたのだから、何も持たずに死ん

でいくのです。
今度こそという思いを抱えて生まれてきたのだから、その思いを確認しながら死んでいくのです。
生れてきて死んでいく、また生まれてきて死んでいく、その繰り返しの中でいったい何を学んできたのでしょうか。学ぶどころか自分を落としていっただけの転生でした。
何度失敗しても、それでも自分の中の愛に目覚めたいとそう思ったから、自分に肉を持たせてきたということでした。そんな思いを自ら踏みつけにして、我一番なりと言い続けてきたことが、本当に哀れでしかありませんでした。
今、ひとつの肉を通して自分の中の宇宙を感じていける時間を用意しています。ずっと喜びと温もりの世界とともにあったことを確認できる時間を自分に用意できたことを幸せに思っています。
ともにある確信を強く深めていく時間の中に生きていけばいいと伝わってきます。伝わってくる思い、波動を大切にしています。

⑨　私達は何度転生を繰り返しても、真実の世界が分かりませんでした。肉基盤が間違いの根っこだったと今世の肉の耳を通して情報を得ても、なかなか心で分かるということは難しいのが現状です。
ですが、肉、形の世界が色々なところから綻びを見せ始め、いったい本当のことって何だろうかと考える人が増えてくるこれからです。
仕事が順調で家族にも恵まれ一応この世的な成功者と評価をいただいても、さあ本当のところはどうでしょうか。

ひとつの目標を掲げて自分を鼓舞し人生を謳歌しているかのように見えても、死ぬまで順風満帆の人生とはいきません。
仮に、自分の思いが全部叶えられた人生であったとしても、死んでしまえば雲散霧消です。
そういうことを本格的に自分の心で知っていくことが、知っていこうとすることが大事なのではないでしょうか。目の前の出来事に一喜一憂して、自分が生まれてきた本当の意味も知らずに、大切な肉を持つ自分の時間がなくなっていくことは絶対に避けたいところです。
今世の転生をしっかりと活かして、本来あるべき道を歩いていきましょう。
世の中は濁流です。肉を持っている以上、その濁流と無縁というわけにはいきません。流れながら流されない生き方をそれぞれが習得して、ごめん、ありがとう、嬉しいの喜びの人生の時間を可能な限り持ってください。
ともに行こう、そんな呼び掛け、いざないのほうにしっかりとあなたの心の針を向けて合わせて次の転生の足掛かりをしっかりとつけてください。

⑩　何よりも大切なこと、何よりも何よりも大切なもの、どうぞ、それぞれの心の中に、意識の中にしっかりと確立してください。
肉、形の中で無難にまたは器用に生活をしても、もうお分かりのように行先真っ暗です。地獄の奥底に沈む転生からの脱却を真剣にしてください。
広々と開けた温かい温もり、喜びの中へ帰っていく、戻っていくチャンスの時をしっかりと活かして、ともに母なる宇宙を目指

していきましょう。
２５０年後の最終転生に合わせて、どんどん正しい瞑想を重ねてください。
アルバートの波動と出会いたかった私達なんです。心から心からそう切望してきたこと、あなたも自分の心で味わってみてください。
もう嬉しいだけです。ありがたいだけです。アルバート、心から心からそう呼べる幸せを何度も何度も堪能してください。

⑪　瞑想、瞑想といっても、暮らしていく中で、するべきことをおざなりでいいということではありません。
きちんとするべきことはして、つまり生活のリズムをそれぞれ整えて、身体も心もリラックスして瞑想をしましょうということです。
肉的に忙しくて身体も心も疲れた状態で瞑想なんてできるわけはありません。
瞑想をする時間の長短云々の話ではなく、きちんとした瞑想ができる環境が整っているかが問題です。
それが生きていく中で最も重要です。何のために今、肉を持っているのかというところに戻ればそれはそうです。
ひと財産築くため、家族を形成するため、肉の己を高みに置くため、そんなことで生まれてきたのではないことをしっかりと自分の中で確認してください。
肉を持つ時間は限られています。限られた中で、さらに学びをしていく時間は限られています。そこのところもしっかりと確認してください。

⑫　意識の世界は分かっていけば、非常に簡単です。プラスもマイナスもない、みんなプラスだからです。
こっちかあっちか迷うことも悩むこともないんです。ただ一本の道が真っ直ぐに続き、その道を歩んでいけば必ず広がっていく温もり、喜び、安らぎの世界があることを自分の心は知っているから、もうひたすら真っ直ぐです。
母の意識が伝え続けていた世界が確かに私の世界でした、私でしたとなってきます。
田池留吉の肉は、そのことを私達に伝え続けてくれました。ありがとうしかないです。
思うは田池留吉。肉の終わるその瞬間まで思うは田池留吉一筋の道を生きていきましょうということです。
メッセージ通り、あなたもあなたの歩みを確認して、ともに喜び、幸せの元々あった世界へ戻ってまいりましょう。
愛を捨て狂い続けてきたことを自分に心から詫び、そして生き直してください。

⑬　幸せを知っていきましょう。本物の幸せと喜びをその心で知っていきましょう。何も要らなかったんです。思える心を持っていました。もちろんこの心というのは、死んでも、つまり肉体が無くなってもある意識の世界です。その意識の世界こそが私達の本当の住処でした。形あるものばかりを信じ追い求めてきた私達に、形のない世界がすべてだということはなかなか浸透していくことは難しいです。
しかし、信じ追い求めてきた形ある世界が悉く崩れ去っていく現実を目の前にしたとき、私達はいったいどこに心を向けていけばいいのかということに直面します。

神と祈りを捧げても、その神の世界が哀れにも醜く無残な状態であることを知っていくでしょう。
神聖な神の世界など存在ません。慈悲深い仏の世界など存在しません。
深い闇の眠りから自ら目を覚ます激動の時を迎えます。当然、痛みを伴います。痛みのまま終わるのか、痛みが喜びへと変わっていくのか、まさに激動、激震の時がやってきます。

⑭　何はなくとも、母なる宇宙へ帰る、愛、心のふるさとへ帰る道をひたすら歩いていくこと、そう決めてきた自分の中の思いをしっかりと思い起こしていきましょう。
決めてきたんです。自分自身が決めてきたこと、誓ってきたこと、約束してきたこと、今世こそ本当に思い出して、本当の自分に復活してまいりましょう。
何はなくとも幸せ。この道、この道と出会ったから。そして、今、着実な歩みを進めているから。はっきりと自分に言えますか。
みんなみんなともに帰ろう。ともに帰ることを切望していることを、あなたの心で感じてみてください。それはそれは幸せな時空に自らをいざなっていきます。そして、切望が現実となってくると、さらに幸せの深みが増してきます。何はなくとも幸せです。

⑮　その気になりさえすれば、いくらでもやり直し、生き直しができる今です。本当のことはこうだと伝えていただいたのだから、あとは自分次第です。本気になって自分の人生と取り組んでいく真の勇気が必要です。
肉に埋没してそれなりに生きていくことなんて容易いことです。

しかし、それは自分の世界から目を背けて、自分を裏切っていく行為です。その思いは途轍もなく冷酷です。肉の中に馴染んでしまったならば、それさえももう全く分らなくなっていきます。
そこから、どう切り抜けていくか、やはり、そこには母の温もりのパワーが必要です。
そこをしっかりと確認していれば、自分の未来は明るいです。本当の意味で明るいです。未来が明るいということは、過去も明るい、明るい方向にいざなっているということです。だから、やり直し、生き直しができる今を何よりも大切にしていきましょう。